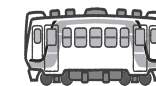




梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



チーム一丸となって

少年野球大会

9月3～18日



賞状や優勝旗を受け取るメンバー

第17回久慈市長旗争奪少年野球大会兼第48回ちびっこ野球大会が行われ、9チームが参加。久慈湊オリオンズが優勝を納めました。キャプテンの湊一馬くんは「バッティングがうまくつながりました、みんなで声を出し合い頑張ったので、うれしいです」と笑顔を見せました

地元の元気プロジェクト

久慈秋まつり助成金目録贈呈式

9月2日



目録を手にする山本会長と横山支社長(左)

明治安田生命保険相互会社が久慈秋まつり実行委員へ助成金24万円を寄贈しました。贈呈を行った同社盛岡支社横山幸司支社長は「3年ぶりの秋まつりに寄付をすることができ、うれしく思う。今年は展示型の開催と伺っているので、ぜひ活用いただきたい」と述べました。

楽しくバードカービング

バードカービング教室

8月24日



好みの止まり木に乗せた山雀を手にする参加者

山根市民センターのバードカービング教室が開催され、山根・小久慈地区から14人が参加。全6回の教室で羽行英雄さんから丁寧に指導を受けました。参加者は、シナノキを使い、彫刻や色付けなど真剣な表情で山雀を完成。和気あいあいと楽しく製作を行いました。(大久保)

大切に思う心を育てる

人権の花運動

9月2日



鉢に花を植える児童ら

待浜小学校2年17人が、人権の花運動を実施しました。土を入れたあとに鉢をもち上げる作業に悪戦苦闘しながらも、人権擁護委員と一緒に花を植え、命の大切さや思いやりの心を学びました。越戸咲名さんは、「きれいで長続きする花になってほしいです」と元気に述べました。

祭りの後もまちをきれいに

中心市街地をごみ拾い

9月18日



まちなかを丁寧に
ごみ拾い

久慈秋まつりの翌日、中心市街地で高校生まちおこし団体INSPIREと久慈秋まつり実行委員の7人が、ごみ拾いを行いました。久慈高等学校3年の大道さくらさんと大粒来花菜さんは「華やかな祭りの後もきれいな町にしたいと思い実行しました」と述べました。

心に響く生演奏

文化芸術による子ども育成事業芸術家派遣

9月7日



やさしい音色に耳を傾ける児童ら

夏井小学校で、盛岡在住のバイオリニスト川村伸子さんと、ピアニストの志鷹美沙さん、チェリストの高橋麻理子さんによる演奏会が行われ、全校児童と保護者らが参加。プロの演奏を聞き入りました。川村さんは「音楽の世界を共有できてうれしかった」と笑顔で語りました。

フリークライミング教室

市民体育館自主事業

9月10日



自分の手足だけを
使って攻略

市体育協会は、各種スポーツ大会や運動教室などさまざまな自主事業行っています。2階ではクライミングウォールを使って体験教室を開催。参加した久慈小4年の青山新司さんは「登った時の達成感が楽しい。将来はオリンピック選手になりたいです」と声を弾ませました。

ドキドキわくわく行ってきました!

太鼓教室が「北奥羽ナチャドヤラ大会」に参加! 8月18日



オープン参加の部に初出場!

長内市民センター太鼓教室の参加者7人は、大川目太鼓のメンバーと一緒に洋野町で開催された北奥羽ナチャドヤラ大会に出場。初めての場所や体験にドキドキしつつも、練習の成果を披露し、心から大会を楽しみました。貴重な体験は次年度につながる事業となりました(大石)

未来の視点から脱炭素を考える

北いわて気候みらい会議2022

9月3～18日



▶参加申し込みはこちら

次回は10月31日(月) 13時～久慈グランドホテルで開催

9月18日さんりく基金を活用した、北いわて気候みらい会議がロイヤルパークカワサキで行われ、14人が参加しました。講師は日本ファシリテーション協会の徳田太郎氏。脱炭素を実現した未来の視点から現代を見る手法のワークショップでは、活発な意見が交わされました。



小渡 正利
リポーター



大石 純夫
リポーター